

教材教具名	課題別引き出し	分類	学習システム
		授業名	個別課題学習（高等部）
ねらい	番号順に一人で課題を行える		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

上から順に引き出しの中に入っている課題を行っていく。

<材料>

100円ショップのケース（引き出し100円、トレー100円）

<工夫点>

自分が今どこをやっているのかが分かる。

<効果>

慣れれば、最後の一回の報告まで課題を一人でできる。

教材教具名	朝の会進行ボード	分類	学習システム
		授業名	朝の会（小学部）
ねらい	活動内容の見通しを持ち、離籍せず落ち着いて参加できるようになる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

進行に合わせて、めくっていく。

<材料>

ボード、リング

<工夫点>

- ・めくりやすくするために、インデックスを付けた。
- ・どの児童も理解できるように具体物の写真を使用した。

<効果>

これまで離席していた児童が、着席し、落ち着いて参加することができた。

教材教具名	歯磨き手順書カード	分類	学習システム
		授業名	日常生活（小学部）
ねらい	食後の歯磨きをする時間、自分の歯に興味を持ち、手順通りに歯に歯ブラシを当てることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

食後、自分の席に座ってカードを順番にめくりながら、歯に歯ブラシを当てたり、磨いたりする。

<材料>

厚紙、コピー用紙、リング、プラスチック段ボール

<工夫点>

歯を磨く場所を赤色で示したり、順番に並べたり、自分で歯を磨けるように縦に置けるようにしたりしている。

<効果>

他の児童の仕上げ磨きをしている間、一人で磨く時間ができてきている。自分で数を数えながら磨いたり、歯ブラシを動かしたりする姿が見られている。

教材教員名	農園芸班 今日の流れ	分類	学習システム
		授業名	作業・農園芸班（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> このボードを使って授業の流れを説明することで、見通しをもって参加できるようにする。 活動が終わるごとにひっくり返し、次何をするのか、あとどのくらいで終わるのかをわかりやすくする。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

授業の最初に使用。活動が一つずつ終わるごとに、マグネットをひっくり返す。（生徒を注目させて）

<材料>

ホワイトボード、番号カード、両面シート、両面テープ

<工夫点>

裏が「おわり」になっていて、ひっくり返すと花丸になる。

<効果>

生徒が見通しを持って、落ち着いて授業に取り組んでいる。

教材教具名	道具ケース	分類	学習システム
		授業名	作業・手工芸班（中学部）

ねらい

- 整った環境で作業に取り組めるようにする
- 作業に用いる道具を自分で管理できるようにする

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

写真の貼ってある場所にそれぞれの道具を置く。また、道具を使った後はそれぞれの場所に戻す。

<材料>

紙皿（仕切り付き）、写真カード

<工夫点>

それぞれの仕切りに道具の名前を書くだけでなく、写真を貼ることで視覚的に分かりやすいようにした。

<効果>

机上が整理された状態で作業に取り組むことができるようになった。

使ったものは元の場所に戻すなど、道具を自分で管理する力が身に付いた。